

恩師 七五期生 同窓生へ

発行部数 二百十部 老後の生き方を真剣に問い掛ける豆新聞

住所変更のご連絡

七五期

葉書きの同級会

10月20日安積桑野会男女
共学検討委員会の初会合が
開催された。今泉正顕会長
58期のもと遠藤正三元県会
議長2期を最長老に約60人
が集まった。我が期は丹治
勇と私が参加したが私達よ
り若い世代は僅か5人、同
窓会では55才でも鼻たれ小
僧である。会長の挨拶の
後、県教育委員会からの共
学実施の説明にほとんどの
時間を費やされた。続いて
皆の考えをまとめた形で

今泉会長からの代表質問。
趣旨は高校全国の多くの高
校がすでに共学化を終えて
いるのに個性化が叫ばれる
この時期になぜ今更共学化
なのか、平成13年の安高安
女、磐高磐女14年会高会女
15年福高福女の共学化計画
の順序ほどのような理由に
よるものなのか。県教委は
地元のRTA、同窓会、地
域関係者の理解をいたたく
としているがどのような方
法で理解を深めるのかと言
うもの。続く石川博之副会
長63期から補足質問は仕事
柄検事をやり込める弁護士
そのもので、「こゝで今更の

共学化を進めようとするこ
とは戦後50年の共学化推進
への放置、現状の男女別学
校の否定、県教委の怠慢を
意味する事にならないか。
次回再び説明会を要求し
たが県教委斉藤次長は「学
校長より説明させます」と
責任転嫁の形となり野次が
飛んだ。終了後今泉会長
「やみくもに反対している
のではない。なぜ共学化な
のか、我々の納得いく説明
を聞きたかった」と語った
帰り際、高橋哲夫恩師と
同道「官僚は納税者生徒達
をお客様と考える視点を持
合わせていない」と私が言

つたら「そつなんだよ。40
年公立の先生やって郡山女
子大と言つ私学の教授に成
った時初めて分つたんだ。
生徒が来てくれなければ俺
の給料は貰えないって」
翌日の地元紙の見出しは
『共学化反対意見相次ぐ』
とあったが、正確には『県
教委の説明不足に同窓生怒
る！』が正しい。賛成反対
以前に県教委のアカウンタ
ビリテイ（説明する責任）
が問われている。県が共
学を押し付けるのでは無く
別学共学どちらが良いか地
元のPTA、地域関係者の
意見の集約をしたらどうか

無責任編集発行敬称略御容赦 郡山市熱海町熱海4の39 村田英男 FAX0249-84-2131 求む、近況報告